

小学校ボランティア活動～児童理解と学級集団づくりの理解～

団体名●森永ゼミフィールド基礎演習 2年／代表者名●森永秀典(人間科学部こども学科講師)

はじめに

9月から1月までの5ヶ月の間、金沢市立夕日寺小学校において、授業補助や授業参観、学校学級事務等を経験することを通して、児童理解や学級集団の理解を深めること、小学校教員としての仕事の見通しをもち、その価値や難しさについて理解することを目的に活動を行った。また1月には学生それぞれが1つの学級の教壇に立ち、児童の自己肯定感の向上と人間関係の形成を目指し、構成的グループエンカウンターを実施した。

活動内容

授業補助、授業参観、学校学級事務等

児童の学習の補助や児童の解答したテストやプリントの採点、回答したアンケートの集計など様々な支援を行った。また、実際に学校現場で働く先生方の授業を参観することを通して、児童への問いかけや関わり方、教材研究の仕方などについての学びを深めた。



写真1 児童への学習支援の様子

運動会への参加と児童補助

運動会の準備から運営までの参加を通して、新たな児童の姿を見つけながら児童理解を深めたり、運営する側としての留意点について意識したりすることができた。また、児童が自分の力を発揮できるように補助を行い、運動会の成功に力を尽くした。



写真2 運動会後の集合写真

構成的グループエンカウンター (SGE) わたしの感じシートの実践他

学生それぞれが1つの学級の教壇に立ち、ゼミの学生同士で話し合っただけで考えた活動(・われら〇〇族・質問じゃんけん)と共通の活動(わたしの感じシート)を実施した。実施に向け打ち合わせを繰り返し、教材準備とリハーサルを行った。当日はどの学生も堂々と児童の前で活動を行い、学級の児童全体に対して指示を出すことや活動を行うことの面白さと難しさを実感した。



写真3 SGEの活動様子

成果、結果の考察

学校現場での活動を通して、教員の仕事に対する見通しをもち、児童理解や学級集団の理解を深めることができた。以下学生の感想の抜粋(一部略)。

“私は放課後学習でどんどんレベルアップしていく問題を解いている1年生の皆に会うことが毎週の楽しみになっています。また、それだけでなくレベルアップした問題に対しても、しっかりと前までやってきたことが土台となってきているのだと思い、私自身もとても嬉しく思います。”

“各学年の教室掃除をしているときにはいつも掲示物を見させてもらっています。この間見つけたのは教室に沢山並んでいた自学ノートでした。児童たちが1冊終えるごとにそこに並べられることで、視覚的に皆の頑張りが分かるようになっている工夫がとても素敵だと思いました。”

学生によって様々な視点をもちながら活動に参加しており、本活動の目的を達成することができたと考えられる。

今後の課題、展望

今後は教育活動の内容や質について検討し、さらに活動の質を高めていきたい。